

**診療業績**

1. 患者数

単位：人

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
外来患者数	66,892	68,876	70,935	75,401	<b>80,569</b>
1 日平均 外来患者数	229	235	242	258	<b>275</b>
入院患者数(在院患者延数)	6,407	5,923	6,637	7,499	<b>9,004</b>
平均在院患者数	18	17	19	21	<b>25</b>
平均在院日数	19	21	20	21	<b>14</b>
平均病床利用率					<b>82.2%</b>
90 日超え患者数				0.20%	<b>0.20%</b>
緊急入院患者数				130 (10 月~)	<b>419</b>
入院患者平均年齢					
外来/入院比率	12.7%	13.8%	12.7%	12.2%	<b>11.0%</b>

H25 年 10 月病院へ

2. 病床稼働率 (%)

(平成 26 年度)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
79.2	79.2	84.0	82.0	75.5	84.0	82.7	84.1	88.5	83.0	82.5	82.0

3. 在宅・施設 医師訪問数 (死亡確認を含む)

単位：人

H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
984	932	930	1,067	<b>1,110</b>

4. 手術

単位：人

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
ヘルニア	23	15	34	13	<b>29</b>
内痔核	1	0	2	0	<b>4</b>
胃・大腸	14	7	12	8	<b>8</b>
その他	33	29	18	16	<b>11</b>
総数	71	51	66	37	<b>52</b>

## 5. 内視鏡検査

単位：人

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
上部内視鏡	1,404	1,285	1,463	1,766	1,841
下部内視鏡	470	476	501	537	607
内視鏡手術	80	77	82	102	117

## 6. 死亡総数

単位：人

死亡原因		H22 年度		H23 年度		H24 年度		H25 年度		H26 年度	
		悪性腫瘍	それ以外	悪性腫瘍	それ以外	悪性腫瘍	それ以外	悪性腫瘍	それ以外	悪性腫瘍	それ以外
死亡場所	自宅	19	11	25	11	22	6	30	10	27	14
	施設	3	47	30	1	8	34	2	60	3	60
	当院	126	26	48	81	102	36	111	32	161	67
	その他	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0
総数		150	84	104	93	133	76	144	102	192	141

## 7. 訪問看護数・在宅看取り数

単位：人

	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
訪問患者 実数	151	145	155	165	174
訪問患者延べ人数	2,942	3,365	3,169	3,549	3,789
在宅看取り人数	33	59	27	24	35

## &lt;主な訪問地域&gt;

東松山市 吉見町 川島町 熊谷市 滑川町 鳩山町 嵐山町 寄居町 ときがわ町 小川町  
坂戸市 熊谷市 鴻巣市 (全体の70%は東松山市内)

## 8. 委託契約高齢者施設

	入所者数	往診看取り数
東松山ホーム (東松山市)	110	26
吹上苑 (鴻巣市)	98	27
シャロームガーデン坂戸 (坂戸市)	81	9

9. 人間ドック

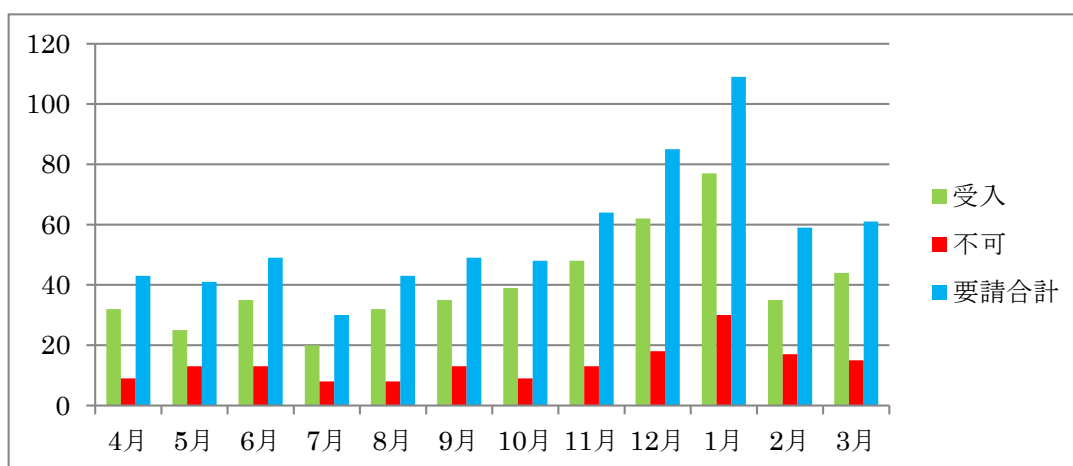
平成 26 年度 221 件            利用内訳 当院（自費）：44 件  
吉見町補助：43 件  
東松山市補助：134 件

10. 乳癌検診

平成 26 年度    ・当院：486 件  
                  ・にっさい医院：284 件  
                  （東松山市全体：1893 件）

11. 救急搬送受け入れ実績数（H26 年度）

	受入	一時受入	不可	要請合計	受入比率
4月	32	2	9	43	74.4%
5月	25	3	13	41	61.0%
6月	35	1	13	49	71.4%
7月	20	2	8	30	66.7%
8月	32	3	8	43	74.4%
9月	35	1	13	49	71.4%
10月	39	0	9	48	81.3%
11月	48	3	13	64	75.0%
12月	62	5	18	85	72.9%
1月	77	2	30	109	70.6%
2月	35	7	17	59	59.3%
3月	44	2	15	61	72.1%
合計	405	22	134	561	72.2%



12. 紹介件数

1620 件

医療福祉相談室

【相談件数】

	新規	継続	再開	合計
入院	84	931	2	1017
外来	72	135	5	212
往診	18	100	3	121
その他	285	424	32	741
合計	459	1590	42	2091

【依頼診療科】

	件数
内科	1301
外科	20
皮膚科	23
緩和ケア外来	568
乳腺外来	4
神経内科	17
腎臓内科	158
その他	0
合計	2091

【依頼経路】

	件数
医師	248
看護師	100
その他職員	62
M S W	640
他医療機関	430
施設・他機関	263
行政	13
本人	27
家族	304
その他	4
合計	2091

【主訴・紹介理由】

	件数
受診・入院・療養相談	1030
退院相談	462
転院相談	303
経済的相談	25
心理社会的相談	48
社会保障制度	113
担当者会議	25
情報収集・提供	66
カンファレンス	12
苦情相談	7
その他	0
合計	2091

【方法】

	件数
電話	1567
面接	410
口頭	106
文書	8
その他	0
合計	2091

【介護支援連携指導料】 300点

指導件数	42件
指導料(点)	12600

【退院調整加算】

入院期間	件数	加算(点)
14日以内 340点	26	8840
15日以上30日以内 150点	36	5400
31日以上 50点	13	650
合計	75	14890

## 【分析】

平成26年度は、相談件数2091件であった。この数字に関しては、前年度と比較することができないため、当院において、多いのか少ないのかは不明である。

相談件数のうち、「その他」という項目は、当院受診歴のない患者からの相談である。他医療機関や居宅介護支援事業所、家族からの受診・入院・往診の相談である。そのため、依頼経路としては、「他医療機関」からの相談件数が多く、相談手段としては、「電話」対応が非常に多いことが特徴である。

また、依頼診療科においては、「緩和ケア外来」の件数が多く、緩和目的の患者の相談が多いことも特徴といえよう。

主訴・紹介理由について、自宅や施設入所に関する「退院相談」と他病院への「転院相談」を比較すると、退院相談の件数の方が多い。この数字から、当院が在宅支援に力を入れており、その結果、障害や病気を抱えていても安心して在宅復帰できる患者が多いのではないかと予測される。

月ごとの相談件数を比較すると、6月123件と最も少なく、1月214件と最も多い。入院患者数との関係性を見てみると、2月の新入院患者数45名と最少人数、次に6月の新入院患者数47名。1月は新入院患者数74名と最高人数である。2月は1月の入院患者の相談援助が継続しており、相談件数としては、183件と多めになっているが、相談件数は新入院患者数にほぼ比例するといえる。

介護支援連携指導料は、1か月平均2件であるが、ケアマネジャー、家族・本人を交えてのカンファレンスの開催は、在宅の時間が残された癌終末期の患者に良い時期に退院していただくためには、調整に時間を要する。本来、医療度の高い患者であり、他機関とのカンファレンスは必要であるが、なかなか開催できない実情があり、ソーシャルワーカーを介しての連絡調整となることが多い。また、退院調整加算に関しても、入院に対して件数が少ない。癌終末期で入院され、当院で看取る方が少なくない現状、退院支援計画が立てづらく、立案しても退院までつながらないケースが多いことも要因の1つと考えられる。

平成27年度2病棟へと分かれ、一般急性期の患者が増えることが予測されるため、積極的に早期の退院支援に関わっていききたい。